

# これからの横芝光町 No. 2

## 横芝中学校 10月2日「起工式」



完成予想図

工事を実施して  
きました。

敷地造成工事は坂田池周辺の軟弱地盤を想定し、地質調査を行ったうえで埋め立て工事に併せて田面の上  
に土木安定シ

軟弱地盤に対応しています。

工事期間は、平成19・20年度の2カ年で建築・外構工事を、また平成20年度に校庭整備工事を行い平成21年1月の開校を目指しています。現在の横芝中学校（校舎・体育館・武道場・プール等）は、新校舎が開校された後に取壊す予定です。

できる環境

○自然・歴史・文化や産業など、地域の教育資源を活かせる環境  
○地域や家庭の学校運営への参画を考慮した開かれた学校づくり  
○情報教育・国際理解教育の推進及び環境対策など  
特色ある学校環境

現在の横芝中学校は、昭和34年の建設から約50年が経過したことにより老朽化が著しく、また敷地面積も狭いことから教育に支障をきたしています。そこで「新町建設計画」に基づき、

将来の横芝光町を担う子供たちが学習しやすい環境整備を進めています。

自然豊かで広い敷地を求め現在の横芝地先から坂田池地先への移転改築を決定し、平成16年に地権者の皆様の協力により用地を確保し、平成17年から敷地造成

トを敷き、集中荷重を分散軽減する「シート工法」と盛土の荷重により圧密沈下を促進させ地盤を安定させる「載荷重工法」、排水性のよい山砂を土木シートの上に30センチの層に敷き詰め排水性を高める「サンドマット工法」の三つの工法を取り入れています。これらの軟弱地盤の対処工事と併せた造成工事を完了させ、今年10月から建築工事がはじまります。また、杭工事

も「拡大根固め工法」という高支持力杭を用いることで、

### 施設整備基本構想

○生きる力の育成のために、教育方法の多様化に対応

### 施設整備方針

○特別教室型や教科教室型の良さを取り入れ、将来的に柔軟な対応ができる空間と機能を確保する  
○建設地に隣接した史跡・湖沼・公園・スポーツ施設等を有効かつ効果的に活用する  
○生涯学習機能を持たせ生徒や地域から親しまれる魅力ある学校施設  
○災害時などに配慮した配置とし、緊急時に有効に対応できる学校施設

### 全体予算（計画額）

国庫支出金	3 億円
合併推進債	2 億8,000万円
合併特例債	13億3,200万円
地方債	1 億3,300万円
横芝中学校建設基金	13億8,100万円
成田空港会社助成金	1 億6,000万円
一般財源	3 億5,400万円
合計	39億4,000万円

### 規模・構造

	所在地	敷地面積	クラス数	校舎	屋内体育館	武道場	テニスコート	野球場	運動場	校舎構造	屋内体育館
新横芝中学校	横芝光町 坂田池	39,000㎡	12クラス+ 特別支援2クラス 少人数学習室6室	6,786㎡	2,861㎡	600㎡ (体育館内)	4面	両翼90m 中翼95m	200mトラック	鉄筋コンクリート造 地上3階	鉄筋コンクリート造 地上2階
現在の横芝中学校	横芝光町 横芝670	20,185㎡	12クラス+ 特別支援2クラス	3,912㎡	1,786㎡	570㎡	2面			鉄筋コンクリート造 地上3階	鉄筋コンクリート造 地上2階